

シンプル&スマートな来客対応

ACALL 株式会社（兵庫県神戸市）



オフィスなどの働く場をデジタル化する「ACALL（アコール）」の開発および販売を行っている。同サービスは、タブレット端末などを活用して、受付の来訪客案内だけでなく入退室セキュリティ、会議室管理も対応している。アプリをダウンロードするだけで誰でも使用可能であることから、中小企業でも導入しやすい。また、大手企業や自治体でも採用が広がっている。

働く「場」の改革

創業当時からの理念は「新しいはたらき方」を自らが実践して、発信する」である。学生時代から起業に関心を持っていたが、選択肢の一つに過ぎなかった。大学卒業後は大手企業に就職し、エンジニアとセールスのキャリア積んだ。その後、SF 映画の世界を実社会でも実現したいと考え、はたらき方にフォーカスした事業を立ち上げた。

大阪市の OIH Seed Acceleration Program の第 4 期生として参加したことで、事業モデルの客観的な見直しや大手企業とのマッチング、メディアへの露出など事業拡大の一助となった。現在、「週刊東洋経済 2018 年すごいベンチャー 100 社」に選ばれている。

海外にも「新しいはたらき方」を提供

ACALL の継続的なバージョンアップを通じて、システムの価値を高めるとともに、認知度を上げていくことを第一目標としている。大企業とのオープンイノベーション例としては、大手飲料メーカーとの共

同開発による来客対応時のおもてなしを自動化する自動販売機を販売する予定である。また、東南アジアを中心とした海外進出も考えている。海外展開時は、セキュリティ機能をさらに強化することで、人件費の安い新興国においても新規の開拓余地があると考えている。



《企業情報》

ACALL 株式会社

650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町 104 2F

代表取締役 長沼 斉寿

<https://corp.acall.jp/>

《関西のベンチャー企業である意義》

学生時代を過ごした神戸に愛着がありました。海外展開を見据えて事業展開をする前提で考えるならば、本社の場所は関係ないので、愛着のある街を選ぶと良いと考えます。

（代表取締役 長沼 斉寿）

